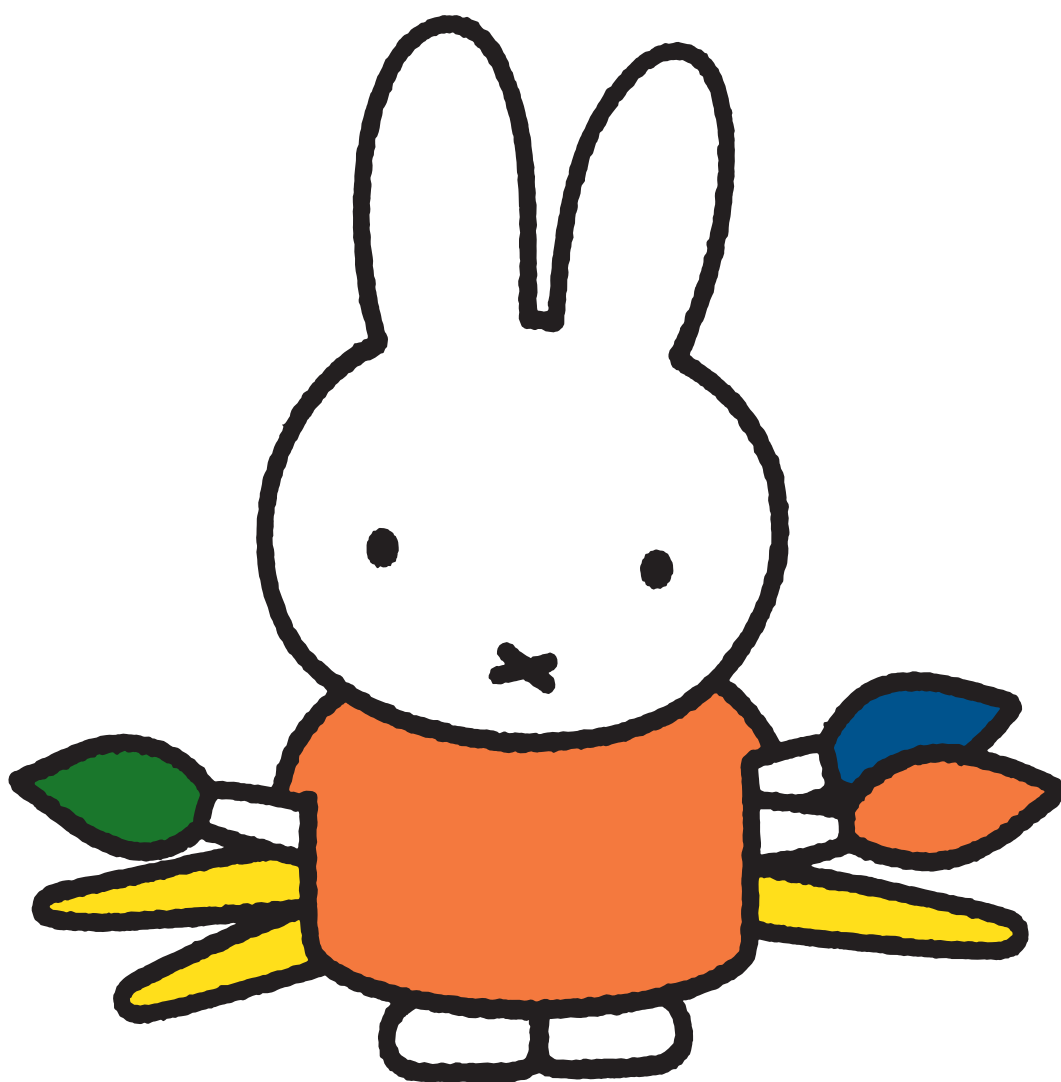


石川県七尾美術館だより

平成17年7月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第42号(夏号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

美術館に行こう!

ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方

《Miffy 45th》1997年
ディック・ブルーナ・ジャパン蔵
Illustration Dick Bruna
© copyright Mercis bv, 1997
www.miffy.com



展覧会紹介

平成17年7月1日(金)～
9月25日(日)
休館日については裏表紙をご覧ください

「美術館に行こう！」

「ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」

7月29日(金)～9月25日(日)

「会期中無休」

◆第一・第二・第三展示室

ウサギのキャラクター「ミッフィー(うさこちゃん)」の生みの親として知られるディック・ブルーナ(一九二七年オランダのユトレヒト生まれ)。ブルーナは現代のオランダを代表するグラフィック・デザイナーでもあります。

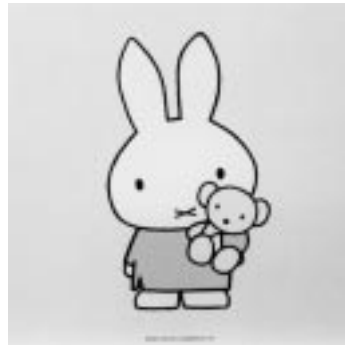
彼の絵本はブルーナ・カラーといわれる六色から構成され、手書きによる線描は独特の雰囲気を出し、シンプルにして最高の絵本として世界中で愛され続けています。

今年、ミッフィーは生誕五十周年を迎えました。それを記念し、本展ではミッフィーなどのキャラクターを中心にブルーナの足跡をたどり、また、ブルーナが影響を受けたモダン・アートの作品を、絵本『ミッフィーのたのしいびじゅつかん』に沿って紹介します。さらに、ワークショップや遊べるコーナーもあり、親子で楽しみながら学べる体験型の展覧会です。

今年の夏は、ミッフィーやブラック・ベアに会いに、七尾美術館に行こう！

プロローグ

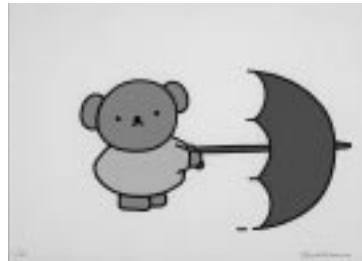
ミッフィーの案内で、シルクスクリーンやオフセットによる「ミッフィー」「ボリス」「ポピー」「ごもたち」を紹介します。



うさこちゃんとテディベア「うさこちゃんのたんじょうび」より 1970年 オフセット

青いかさ「ボリスとおおいかさ」より 1999年 シルクスクリーン

うたこさんとおせんたく「ぶたのうたこさん」より 1977年 シルクスクリーン

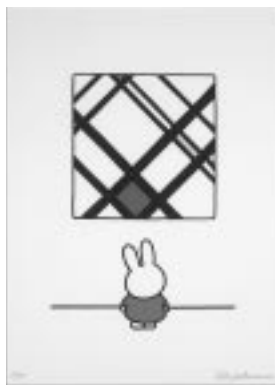


《見てみよう》

「びじゅつかんに いかない? すてきなえが いっぱい あるのよ。だれか、いつしよに いかない?」と、お母さんが声をかける場面からはじまる『ミッフィーのたのしいびじゅつかん』(一九九七年)は、ミッフィーがはじめて美術館に行くお話です。ミッフィーはこの絵本の中で様々なモダン・アートに触れ、そこでの驚きや感動に対して素直な感想を述べ、美術館での体験を心から楽しみます。

モダン・アートは、一般的に「難しく理解しにくいもの」と捉えられがちですが、実はブルー

ナはそのモダン・アートにとっても影響を受けています。この絵本では二十世紀美術の変遷をわかりやすく紹介、また、具体的な例をあげて考えさせ、ミッフィーは「見る楽しみ」を覚えていきます。この絵本を通して、「子どもたちが、ミッフィーのように素直に美術に親しんでくれたら。」というブルーナの暖かい気持ちや眼差しが伝わってきます。



どうやってみるの? 「ミッフィーのたのしいびじゅつかん」より 1997年 シルクスクリーン

モバイル「ミュージアムシリーズ」より 1990年 シルクスクリーン

《考えてみよう》

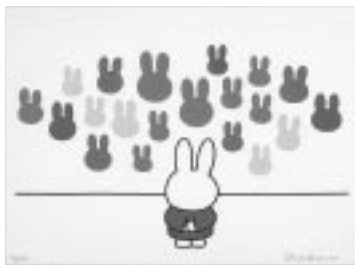
ブルーナは、二十四歳から装丁のデザインを開始、一九五三年には絵本『りんごちゃん』を出版、二年後に代表作であるミッフィーシリーズの第一作『ちいさなうさこちゃん』が出版されて以来、百冊以上の絵本を発表してきました。それらの絵本は四十カ国語以上に翻訳され、全世界で八千万



ブラック・ベア シリーズ35周年ポスター 1989年
 「カルネミルク、とてもスリムにしてくれるから」ポスター 1971年 サントリーミュージアム(天保山)蔵
 ペーパーバック『遠くから来た男』ハファンク著 1966年
 ペーパーバック『メグレとつきまとわれた教師』ジョルジュ・シムノン著 1968年
 「わが心の街ユトレヒト」(ユトレヒト市のシンボル)ポスター 1986年
 「私は動物を大切にします」(オランダ動物保護協会)ポスター 1969年

部以上のロングセラーになっています。
 また、ブルーナは絵本制作以外にも、ユニセフ、赤十字、動物愛護、献血活動等、社会活動のためのポスターなども手掛け、二〇〇一年にはオランダの一般市民に授与されるものとして最上位の高い、オランダ獅子勲章コマンドジュール賞を受章しました。

このコーナーでは【初期のデザイン】【ブラック・ベア のポスター】【ペーパーバックのデザイン】【社会活動】【絵本のしくみ】【絵本のポスター】【展覧会のポスター】【絵本の変遷】を紹介するとともに、二〇〇五年制作の新作も展示します。



展覧会 『ミュージアムシリーズ、より』 1980年 シルクスクリーン
 おえかき 『ミュージアムシリーズ、より』 1990年 シルクスクリーン

《作ってみよう》
 このコーナーでは、《見てみよう》《考えてみよう》で学んだこと感じたことをいかして、実際に作ってもらいます。ミッフィーが見ている壁に色んな形を描いたり、ブルーナカラー六色のクレヨンなどを使った「ぬりえ」や、ブルーナにならって透明フィルムを使い、色紙を切って合わせる【いろがみワーク】などを用意しています。

基本的には小学生、親子を対象としていますが、どなたでも参加いただけるフリーワークショップです。大人の方も、童心に返って楽しんでみてはいかがでしょうか(混み合う場合は、子どもさんを優先させていただきます)。



《番外編》
 会期中、休憩コーナーではミッフィーのアニメーション・ミッフィーのおたんじょうび(九話入、四十五分・NHK教育テレビで放映)が見られます。

絵本コーナーでは、ブルーナの絵本を自由にご覧いただけます。

ミッフィーの大型マグネットパズルや、絵本『うさこちゃんがつこうへいく』(一九八四年)の中の「つみき」をイメージした、ふわふわつみきで遊べます。

本展の図録は《見てみよう》《考えてみよう》《作ってみよう》の三部構成で、《作ってみよう》には、自分で作る絵本『うたこさんのたんじょうび』やいろがみワークの材料が入っています。家に帰った後も、目一杯楽しんでおうちミュージアムショップには、ミッフィーとなかまたちやブラック・ベアの可愛いグッズがいっぱい!

美術館に出前郵便局を開設。ブルーナのハガキや、ハガキと切手のセットを購入し、切手を貼って特設ポストに投函される方には、本展の記念スタンプを捺してくれます。また、美術館の撮影コーナーで撮ってもらった写真が、そのまま自分だけのオリジナル切手になるよ(有料・お届けは約二週間後)。

観覧料

	一般	個人	団体
大高生	700円	350円	600円
中学生以下無料・団体は二十名以上です。			300円

第64回七尾港まつり協賛

「池田コレクシヨ」ン選抜展

〔新寄贈作品初公開〕

7月1日(金)〜24日(日)

◆第一展示室

「池田コレクシヨ」ンは、七尾市名誉市民の池田文夫氏が蒐集した美術品です。

池田文夫氏は明治四十年(一九〇七)七尾市に生まれます。戦後間もない頃に岐阜県大垣市で紡績会社を設立し、昭和六十二年(一九八七)に八十歳で亡くなるまで中部地方を代表する経済人として活躍しました。出身地七尾の発展にも多大な功績をされ、昭和五十九年に七尾市名誉市民に推挙されています。

一方で氏は美術品に対して高い見識と愛着を持ち、多くの作品を蒐集しました。その対象は日本から西洋まで広範囲の美術にわたり、氏は作品の価値云々を難しく論ずるよりも、とにかく気に入った作品を眺め、触れる事を何よりの楽しみとしました。

昭和六十三年、ご遺族より七尾市に対して、氏が蒐集した作品より日本美術を中心とした一二五点が寄附され、この事が当美術館建設の大きなきっかけとなりました。また平成七年の当館開館時には、その記念として二十二点の作品が新たに寄附され、合計一四七点の作品は「池田コレクシヨ」ン」と名付けられました。



「納涼美人図」宮川長春



「夕宵図」菊池契月

「池田コレクシヨ」ンの内容は岐阜県美濃地方ゆかりの陶磁器などの茶道美術と、近現代の日本画を中心としたもので、開館時より当館所蔵品の中核として重要な位置を占めてきました。

そして、この度当館開館十周年記念として、池田家ご当主池田輝三郎氏より新たに二十三点の作品が寄附されました。新しい「池田コレクシヨ」ンは日本画・彫刻・工芸が中心で、肉筆浮世絵や九谷焼系列の陶磁器など、これまでとは異なったジャンルの作品が多いのが特色です。

本展では、これらの新寄贈作品を一堂に初公開します。池田文夫氏がこよなく愛した数々の名品を通して、「池田コレクシヨ」ンの新しい世界をぜひご堪能ください。

「木彫土部」山崎朝雲



「絵画・書」
絵画は浮世絵や近現代の日本画など計十一点で、美人画が中心です。浮世絵は全て肉筆で、宮川長春の作品二点をはじめ、いずれも繊細で華麗な色彩が施されています。また同じ美人画でも菊池契月などの近代日本画は爽やかな作風となっています。それから書では、北小路魯山人が若い頃に制作した扁額があります。

「地獄極楽図」歌川国貞・英一珪



「彫刻」

澤田政廣や山崎朝雲など、近現代に活躍した作家による木彫の人物像が中心で、計五点です。いずれも木彫ならではの、木の特性を生かした味のある作品です。また、都賀田勇馬(金沢市出身)や吉田秀鳳(七尾市出身)など地元ゆかりの作家作品も含まれています。

「木彫不動明王像」澤田政廣



「工芸」

工芸では陶磁器が多く計七点です。陶磁器では九谷焼、大樋焼など石川ゆかりの作品が中心で、特に九谷は吉田屋窯や粟生屋窯などの再興九谷や初代徳田八十吉などいずれも優れた作品です。また精緻な象嵌文様が施された燈は今回「池田コレクシオン」に初めて含まれるジャンルです。

「色絵山水図平鉢」吉田屋窯



「波に兎図紋章散燈」

「彩色織姫置物」清水七兵衛



同時開催

第64回七尾港まつり協賛

「夏季・所蔵品展」水のある風景」

第二展示室

今年も夏がやってきました。去年はとにかく強烈な暑さの印象が残りましたが、果たして今年は

どの様な夏になるのでしょうか。

さて、夏に「水」は欠かせない要素です。うだる様な暑い中でも水のある景色は一服の涼感を運んで来てくれます。

そこで本展では、絵画・彫刻・工芸品などより、「水」が何らかの形で表現されている作品を、「池田コレクシオン」などの当館所蔵品や寄託品から計三十一点を紹介します。

今年の夏は美術品を通して涼しさを感じてみてはいかがでしょうか。

共通観覧料

	個人	団体
一般	350円	280円
大高生	280円	220円

中学生以下無料・団体は二十名以上です。

「溪橋雨後図」川合玉堂



「ベニス運河」荒牧弘志



「織部鮑形向附」

「モントレイ・ジャズ・フェスティバル・ポスター展」

7月20日(水)～24日(日)

第三展示室



七尾市の姉妹都市であるアメリカカリフォルニア州モントレイ市は「世界三大ジャズフェスティバル」の開催地として知られています。

平成元年にモントレイ市と七尾市和倉温泉観光協会がジャズを通しての友好を目的に「モントレイ・ジャズ・フェスティバル(MJF)イン能登」はスタートしました。以来、毎年継続し、今年七月三十日(土)に七尾マリンパークで開催されます。これにあわせ、平成八年にモントレイ市より七尾市・和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合に友好の記念として贈られたMJFポスターの一部を展示・紹介します。

アメリカの作家EARL NEWMANがリトグラフで制作し、初刷りがワシントンのスミソニアン博物館にも収められている貴重な版画ポスターなど、ジャズの世界を色鮮やかに、そして躍動的に表現した作品を、この機会に是非堪能ください。

「モントレイ・ジャズ・フェスティバル・ポスター展」のみの観覧は無料です。

市民ギャラリー 展覧会案内

第10回 七尾日創展

7月7日(木)～10日(日)
但し、初日は午後2時から

最終日は午後3時まで

石川県内外から出品された日本画を中心とした
絵画作品約六十点を展示します。今回は十周年記
念展であり、各作家の個性あふれる充実した作品
をお楽しみください。

入場料 無料

主催 日創会(代表 丹羽俊夫)

共催 北國新聞社

後援 石川県・石川県教育委員会・七尾市教育
委員会・中能登町教育委員会・NHK金
沢放送局・北陸放送・テレビ金沢・ラジ
オななお

協賛

金城大学

連絡先 三宅厚史

☎〇七六七(七七) 一三六八

第64回七尾港まつり協賛

第11回 七尾美術作家協会展

7月16日(土)～18日(月・祝)
但し、最終日は午後4時まで

日本画十点、洋画十九点、彫塑五点、工芸八点、
書三十点、写真八点、合計七十八点の全会員の作
品を展示します。新七尾市になって、初めて迎える
港まつりにふさわしい協会展にと張り切ってい
ます。

入場料 無料

主催 七尾美術作家協会

後援 七尾市教育委員会・七尾商工会議所・北

國新聞社・ラジオななお・テレビ金沢・
七尾市文化協会
連絡先 七尾美術作家協会事務局長 木本香泉
☎〇七六七(五二) 四〇一一

加賀・白山の四季 福島健介写真展

7月20日(水)～24日(日)
但し、最終日は午後4時まで

加賀平野から白山麓、白山山頂までの自然を被
写体とした写真六十五点です。作品の半分は杉の
間伐材を利用し自作した額縁を使用、また一部の
作品に自然の素晴らしさを詠んだ俳句を添えまし
た。

入場料 無料

後援 小松美術作家協会・北國新聞社・北國

写真連盟

主催・連絡先 福島健介

☎〇七六一(二二) 九三六八

アートホール催し物案内

第5回メロディーパレット発表会

7月10日(日) 開演 午後1時30分

今年の発表会のテーマは、「四季」。ピアノソロ
では、曲に対する思い、イメージを大切に春夏秋冬
冬と分けて演奏します。今回は、絵画と並べて子
供達の色々な音色を表現できたらと思います。

入場料 無料

主催 石田ゆかりピアノ教室

後援 ミヤコ音楽堂・能登ピアノレスナー会・
北陸中日新聞

連絡先 石田ゆかり

☎〇七六七(五三) 四六二八

第24回 北嶺中学校フルバンド部定期演奏会

7月30日(土) 開演 午後2時

日頃の部活動の成果を発表します。部員は十二
名と大変少ないですが、ポピュラー・演歌と幅広
く演奏します。ハンドベルの演奏にもチャレンジ
します。皆さんのご来場をお待ちしております。

入場料 無料

後援 七尾市立北嶺中学校PTA

主催・連絡先 七尾市立北嶺中学校
☎〇七六七(五八) 一一二二三

当館主催の催し・アートホール・

◇映画上映会◇【入場無料】

・7月9日(土) 午後2時

「彫漆 音丸耕堂のわざ」(30分)

「国宝・松林図屏風

長谷川等伯展」を終えて

七尾市民の念願であった長谷川等伯の「松林図
屏風」の里帰り展が実現しました。四月二十五日
から五月八日の二週間という短期間でしたが、展
示室は連日大勢の観覧者で大賑わい。一時は展示
室への入場を制限せざるを得ないありさまでした。

五月の大型連休を挟んでの開催で、青柏祭や一
本杉通りでの「花嫁のれん展」、山の寺でのお茶会
や寺宝公開など様々な催しもあり、七尾の町は遠

国宝「松林図屏風」長谷川等伯展観覧者数等一覧

月/日(曜)	観覧者数(内小中高数)	累計	備考
4/24(日)	206	206	開会式
25(月)	1,890 (786)	2,096	
26(火)	2,977 (1,128)	5,073	
27(水)	3,086 (797)	8,159	
28(木)	3,218 (1,352)	11,377	
29(金)	3,792 (244)	15,169	松原茂氏講演会
30(土)	3,369 (187)	18,538	
5/1(日)	4,319 (284)	22,857	
2(月)	3,893 (1,020)	26,750	
3(火)	4,391 (299)	31,141	
4(水)	5,934 (450)	37,075	
5(木)	5,040 (374)	42,115	
6(金)	3,951 (848)	46,066	
7(土)	4,441 (220)	50,507	観覧者5万人達成
8(日)	6,905 (494)	57,412	最終日
観覧者総数	57,412 (8,483)		

方からの来客で大変賑わいました。本展の開催にあたり、当初、観覧者数三万人を目標としましたが、何と、五七、四一二人と、四一二という驚異的観覧者数を記録しました。「松林図屏風」を一目観ようと県外からの来館者が多数見られました。実行委員会、市民委員会の皆さまをはじめ、多くの市民の皆さまのご支援をいただいで大盛況で無事終了することができました。ありがとうございました。



観覧者五万人を達成しました！

展覧会がスタートしてからというもの、観覧者、喫茶利用者、グッズ売上げなど何においても新記録の連続！そのような中で、会期十三日目の五月七日(土)、本展の観覧者が五万人に達し、記念セレモニーが行われました。

ちよつと五万人目の観覧者となったのは、富山県高岡市あわら町にお住まいの筆谷和子さんです。筆谷さんには、武元文平七尾市長より本展の図録をはじめ「松林図屏風」のミニチュア、「松林図屏風」絵柄入りTシャツ、七尾出身辻口博啓パティシエによる、モンサンクレー焼菓子菓子ギフトセットなどの記念品が贈呈されました。また、前後賞の富山県高岡市あわら町の道下洋子さん、七尾市三室町の高名祐美さんにも記念品が贈られました。千客万来、好評のうちには幕を閉じた「国宝・松林図屏風 長谷川等伯展」。来年も展示作品を変え今年と同じ時期に「長谷川等伯展」を開催する予定です。お楽しみに！



「国宝・松林図屏風 長谷川等伯展」
来年も展示作品を変え今年と同じ時期に「長谷川等伯展」を開催する予定です。
お楽しみに！

ご寄附をいただきました

このたびの共栄信用金庫様より、新本店の落成と同金庫の創立九十周年を記念して「石川県七尾美術館美術品収集基金」として一千万円のご寄附をいただきました。ありがとうございました。

子どもワークショップ

今年の夏もねんどやねん!! 子どもアーティスト誕生V!



①小学校高学年の部
8/4(木)・5(金)
講師：渡部 浩氏



②小学校低学年の部
8/6(土)
講師：吉田 隆氏



地元の彫刻作家を講師に招き、自在に形をかえる粘土を使って作品をつくります。粘土の素材感を活かして、粘土でしか味わえない立体造形の楽しさに触れてみませんか？
夏休みの宿題にもピッタリ？



【共通事項】

時間：午前10時～午後3時
会場：当館アートホール
定員：12名(要事前申込) ※①は2日間参加できる方
参加費：400円(材料費込、当日集めます)
持ち物：参加費・昼食・飲み物・筆記用具
汚れてもいいタオル

申込方法：往復はがきに必要事項を明記し
美術館「ワークショップ係」へ
①住所②氏名③電話番号④学校・学年
⑤作りたいものの絵

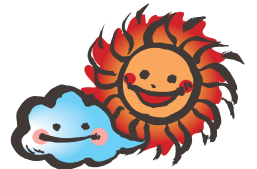
受付期間：7/1(金)～20(水) 必着

※応募者多数の場合は抽選とし、結果は返信ハガキで通知いたします。





これからの展覧会予定



第1・2・3展示室

「2005 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

平成17年9月30日(金)～10月30日(日) 会期中無休

毎年イタリアのボローニャ市で開催される、世界規模の絵本原画公募展入選作品が今年もやってきます。約400点にもおよぶ個性豊かな作品群に加え、2004国際アンデルセン賞画家賞を受賞したオランダの絵本作家マックス・ベルジュイスの作品を代表作「かえるくん」シリーズを中心に特別展示します。

また、これまでの入選作家による「ボローニャへの絵手紙」と出版された絵本や手作り絵本なども展示します。

会期中には絵本づくりワークショップ「かんたん絵本を作ろうよ!」や「子ども映画上映会」なども行います。

「お月さま、どうしてついてくるの?」イ・ヘギョン(韓国)



「七尾市美術展覧会」平成17年11月3日(木・祝)～6日(日) 会期中無休

第1・2展示室

「池田コレクション名品展」

平成17年11月12日(土)～12月25日(日)

当館開館10周年記念新寄贈作品を加えた「池田コレクション」は合計170点となりました。その内容は本作品を蒐集した池田文夫氏ゆかりの岐阜県美濃地方や石川県関連の作品が中心となっています。

本展では「池田コレクション」より、工芸品・絵画・彫刻など幅広いジャンルで各作品を紹介します。



「色絵布袋山水人物図硯箱」初代徳田八十吉



交通案内

飛行機……能登空港より能登有料道路利用約45分

車……金沢より能登有料道路利用約1時間20分

タクシー……JR七尾駅より約5分

徒歩……JR七尾駅より約20分

市内循環バス……JR七尾駅より西回りに(まりん号) 乗車約6分

なおコミュニティバス……JR七尾駅より西コースに(ぐるっと7セブン) 乗車約10分

休館日のお知らせ

(7月～9月)

7月 4, 11, 19, 25～28

8月 ありません

9月 26～29

◎次号・第43号(秋号)は10月1日発行予定です。